

フジコナカイガラムシ（カキ）の防除適期予測

- 1 防除対象
フジコナカイガラムシ（カキ）第1世代若齢幼虫
- 2 対象地域
下伊那地域（標高400～700m）
- 3 予測防除適期

表1 フジコナカイガラムシの生育と防除適期の予測

調査地点 (標高)	飯田市座光寺 (400m)	南信農業試験場 (560m)	高森町牛牧 (680m)
越冬世代の雄成虫の捕獲盛期	5月21日	5月26日	5月26日
予測 ふ化盛期	6月20日	6月26日	6月27日
1回目防除適期	6月27日まで	7月3日まで	7月4日まで
2回目防除適期	7月18日頃	7月24日頃	7月25日頃

- 1) フジコナカイガラムシの第1世代のふ化盛期は、本年のフェロモントラップによる越冬世代の雄成虫の捕獲盛期と過去10年の日平均気温の平均値から予測した。
 - 2) 防除適期は1回目が予測ふ化盛期から1週間以内、2回目は予測ふ化盛期から約4週間後である。
- 4 防除のポイント
- 1) いずれの地点でも予測ふ化盛期は昨年とほぼ同じとなった。
 - 2) 気温が高く推移すれば発生時期は前進し、逆に気温が低く推移すれば発生時期が遅れる可能性があるため注意する。
 - 3) フジコナカイガラムシのふ化は長期間続く。ふ化前の卵の状態や、幼虫の生育が進むと防除効果が低いので、1～2齢の若齢幼虫期に防除を実施する。